

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

○凡事徹底（授業規律・基礎定着・家庭学習）

＜本年度の学力向上策＞

1 授業規律の確立

- (1) チャイムで始まり、チャイムで終わる授業を継続する。
- (2) 忘れ物0キャンペーン等の実施を継続する。

2 基礎・基本の定着

- (1) 各教科における「基礎的・基本的な知識・技能」を明確にし、焦点を絞った授業を実施する。
- (2) 授業の目標を明確にし、「今できるようになる」を合言葉にした授業を実施し、できる喜びを感じられるようにする。
- (3) 授業内で振り返りの時間を確保し、基礎・基本が定着できるようにする。
- (4) 「基礎学力向上の時間」として、今年度は数学科で基礎学力確認テストを行い、基礎学力の定着を図る。

3 家庭学習の継続と定着

- (1) 課題をこまめに提示し、こまめにチェックする。
- (2) 課題は見通しを持って提示し、計画的に取り組めるようにする。
- (3) 小学校との連携を拡充し、9ヶ年を見通した発達段階に応じた家庭学習モデルを構築する。
- (4) 学力向上ポートフォリオ（生徒版）の活用を通して、生徒の学習状況に対する家庭の認識を深める一助とし、一人ひとりに応じた適切な指導・支援の充実を図る。

＜本年度の振り返り＞

1 授業規律の確立

2分前着席への主体的な取組等、速やかな授業準備や学習に臨む心構えの向上が見取れる生徒が増えた。また、忘れ物についても減少傾向にある。次年度も継続して指導する。

2 基礎・基本の定着

全学年で数学の「基礎学力確認テスト」を、定期テストと定期テストの間の期間に年5回実施した。授業の理解度を確認し、定期テストに向けての学習支援ができた。個に応じた学びの達成感や成就感の体得に資した。

3 家庭学習の継続と定着

課題を提示する際には、計画を立てたり、見通しを持って取り組んだりできるように指導した。校区内小学校との連携を継続し、9年間を見通した発達段階に応じた支援を構築しつつある。次年度も継続して指導する。